

吹田民主商工会

いんぷおめ〜しょん



吹田市川園町20-1
TEL (06) 6383-2211
FAX (06) 6382-8160
<http://www.suita-minsyou.com>
main@suita-minsyou.com



大商連北摂ブロック 民商セミナー

11月13日に大商連北摂ブロック7民商合同の民商セミナーが開催され、各民商から61名の役員・事務局が、吹田民商からは9名が参加しました。大商連常任理事・摂津民商の畑さんの司会で全体会が進められ、茨木民商副会長の藤原さんから班活動の取り組みの講演があり、民商入会から役員を引き受けた経緯、集金活動から始まった班の組織づくりの経験、会員さんから持ち掛けられた相談の経験などのお話がありました。そのあと代表発言として豊中民商会長の出口さんからは役員の相談活動として税務調査の立会いについて、高槻民商再建準備会会長の高岸さんからは組織再建の取り組みについて報告がありました。その後4つの分散会に分かれて討議が行われ、全体会の感想や各民商からの特徴的な活動や現状の課題について話し合われました。



吹田市の社会保障・社会福祉の充実を

大阪社保協自治体キャラバンの取り組みとして吹田社保協と吹田市との懇談会が行われました。吹田社保協の幹事団体と大阪社保協から寺内事務局長が参加。事前に行っていた要望書への回答を元に懇談を進めました。PCR検査や医療体制、国民健康保険、全員喫食の中学校給食、子ども医療費助成、障害福祉、学校での生理用品の配布、生活保護など吹田市の社会保障や福祉の各部署と意見交換を行いました。



大商連会館の改修工事へ

会員の皆様から「支援をお願い致します。」

2022年10月28日 大商連会長 藤川隆広
平素より民商運動へのご参加に感謝申し上げます。
このたび、民商が加盟する「大阪商工団体連合会」(以下、大商連)の会館を改修することになりました。つきましては、会員の皆様より物心両面でのご支援をたまわりますようお願い申し上げます。

○大商連会館の歴史と役割

民商は、終戦直後の米軍や日本政府による徴税攻勢に対し、「商売と暮らしを守れ」と草の根でたたかい、全国に広がった歴史があります。その民商が大阪で結集して、全国の仲間とも団結しようと1950年に大商連を創設しました。当時は浪速商工会(民商)に机を置いたところから始まりました。



70年代に「業者運動のとりでを」という声があがり、1972年の大商連第26回総会で会館建設が決議され、翌年に現在地へ建てられました。95年の阪神・淡路大震災では支援・救援センターとなり、支援物資をとりまとめ、支援隊を現地へ送り出しました。同じく2011年東北大震災でも役割を發揮しました。

震災後に会館の耐震補強と増改築を行い、3階の会議室を120人規模に広げたり、専門部会をいっせい開催できるようにするなど、大阪全体の業者運動のナショナルセンターとして、以前にも増して役割を發揮できるようになりました。様々な学習会・交流会、婦人部・青年部・共済会、事務局員の研修など大阪全体の運動・取り組みの会場として使われています。友好団体や学者・専門家などとの交流、共闘の場ともなっています。

○大商連会館は、民商にとって欠かせない場所です

しかし、南海トラフ巨大地震が予想されるようになり、昨年に耐震検査を行ったところ、95年に増築した箇所以外について「大規模地震による倒壊・崩壊の危険性あり」と診断されました。また雨漏りを防ぐための防水・外装工事やアスベスト除去も必要と指摘されました。「会館改修検討委員会」をたちあげ1年かけて討議をかさね、このたび耐震・防水の改修工事を行うことを決定した次第です。全国の仲間と団結してこそ中小業者の要求は実現できます。そのために大阪で民商が結集するところが大商連であり、大商連会館は欠かすことのできない場所となっています。

今回の改修工事は総額6945万円となり、積立金などから5400万円を支出しますが、それだけでは賅いきれません。コロナ・物価高騰など大変きびしい情勢ですが、大商連会館を存続させるため、会員の皆様からのご支援がどうしても必要です。ぜひともご理解・ご協力のほどお願いいたします。

お買い物は地元市場商店街で・商工業者の繁栄は市民と共におい